

# 夏休みのタブレットの取り扱いについて ～バッテリートラブルにご注意ください～

タブレットを長期間利用しないときは、

① 電源をオフに（スリープではなく電源を切る）



② 長期間充電しない（タブレットの電源接続を外す）



充電保管庫の電源を外すとタイマー設定が消えることがありますので、タブレット本体から電源を外します。

③ 直射日光、高温多湿を避けて保管



タブレットのバッテリーは少しずつ劣化していきませんが、長期間の充電、高温多湿な状態での保管は、バッテリーの劣化を早めるだけでなく、バッテリー膨張といったトラブルを発生させる可能性があります。

夏休み中に学校の保管庫でタブレットを保管する場合には、上記①②③の対策をお薦めいたします。

夏休み明けの授業が始まる前に、  
再度充電を行ってください。



可能でしたら電源を入れて起動を確認し、OSやアプリのアップデートを行っておきましょう。

バッテリーを長持ちさせ、安心してタブレットを活用ください